

## ～はじめに～

---

岩手県立大学は、県民の皆様に支えられて、まもなく開学19年目を迎えようとしております。

本学は開学以来、県民の大学として、学生目線・地域目線を基本姿勢に、地域社会に貢献する大学を目指し、教育・研究活動等を行ってきました。また、昨年3月には県民のシンクタンク機能を強化するために設置している地域政策研究センター内に、「地方創生支援チーム」を設けて、本学の教員等と連携し、県内市町村の「人口ビジョン」や「総合戦略」の策定支援を行っているところでもあります。

今年度の滝沢キャンパス講座では、「もっと知りたい！～世界や日本、岩手の今～」をテーマに、近年多く報道されている話題等に関連し、学内外の講師にそれぞれの専門領域からお話いただきました。

そして、今年度より新たに「宮古キャンパス講座」を設け、宮古短期大学部にて公開講座を開催しました。今回は、「地方創生フォーラム」とし、基調講演及びパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、会場の方も参加出来るディスカッション形式で行い、学生や市民の方々とより近い距離で意見交換を行うことができました。

今後も皆様の声を参考にしながら、地域に貢献する大学としての役割を果たしてゆきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

岩手県立大学 学長 鈴木 厚人